

登録コード	TSM16500	開講年度	2026			
授業科目	水環境工学特論				担当教員	小松 一弘
英文授業名	Advanced Water Environment Engineering				副担当	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	水曜・4時限	対象学生
講義室	工E4-院実習室		授業形態	講義	備考	
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】			【授業の達成目標】		
	2 6 TSカリ, 2 5 TSカリ, 2 4 TSカリ, 2 3 TSカリ					
	【専攻】環境調和社会, 知識基盤社会を多様に支える工学分野の高度な専門知識と実践的技術力				水環境、水循環に関する工学分野の高度な専門知識の習得と、それを議論で役立てる実践的技術力	
(2)授業の概要	講義の前半では、我が国における水環境の実情、水環境と人間社会を繋ぐ「用水」と「排水」に関する基本的知見を復習する。講義の後半では、当該分野において自らの意見・提案を表現するための手段（プレゼン、論文など）について具体的な手法を学ぶ。					
(3)授業計画	第1回：イントロダクション 第2回：日本(長野)の水環境 第3回：水循環と水確保 第4回：水環境に関する法整備・環境基準 第5回：水環境モニタリング 第6回：用水と水環境 第7回：水環境と排水 第8回：概観・学会発表・図表の作り方 第9回：プレゼンテーションの方法 第10回：学術論文の書き方 第11回：プレゼンテーション実践のための準備 第12回：プレゼンテーションの実践（第1グループ） 第13回：プレゼンテーションの実践（第2グループ） 第14回：プレゼンテーションの実践（第3グループ） 第15回：プレゼンテーションの実践（第4グループ）					
(4)成績評価の方法	プレゼンテーションの内容（70%）と講義中の課題および平常点（30%）により総合的に評価する。					
(5)成績評価の基準	点数で 90点以上：「水準からみて卓越している」とみなし、秀 80点～89点：「水準よりかなり上にある」とみなし、優 70点～79点：「水準よりやや上にある」とみなし、良 60点～69点：「水準にある」とみなし、可, 50～59点：「水準よりやや下にある」とみなし、不可（D） 49点以下：「水準にない」とみなし、不可(F) とする。					
(6)事前事後学習の内容	事前：学部で受けた水環境に関する講義を事前に復習すること。 事後：講義内容をもとに、自ら情報を収集してより掘り下げた学習をすること。					
(7)履修上の注意	学部で学んだ水環境工学関係の基本的知識をよく復習した上で講義に臨むこと。					
(8)質問,相談への対応	質問等は授業中または授業終了後に受け付ける。その他、メールでの質問等を推奨する。来室される場合は事前にメールで連絡すること（E4棟4階411号室）					
(9)その他						
【教科書】	指定しない					
【参考書】	水環境工学(改訂3版)、松尾友矩・田中修三・神子直之・長岡裕・齋藤利晃、オーム社、¥3,080 明解水質環境学、浦瀬太郎、プレアデス出版、¥2,300					